

PCCJ
Round
10
OCT 2012

RACING PRESS

apan

PCCJ Round 10 SUZUKA



PORSCHE CARRERA CUP 2012 JAPAN



PCCJ Round 10 SUZUKA
10/6-7



平川亮が7連勝でタイトルを獲得

飯田太陽は初優勝

PIRELLI PIRELLI

Allianz UBS Allianz

PIRELLI

PIRELLI

第10戦 決勝総合結果

優勝	C 14	GARMIN PORSCHE	平川 亮
2位	C 11	Excellence M.S	山路慎一
3位	C 90	OGTI 豊通エレクトロニクス	Igor SUSHKO
4位	C 22	MIKE DIRECTION	Michael GREEN
5位	C 15	パワーステイション サムライ	神取彦一郎
6位	C 5	高見沢整骨医院 OSSO ボルシェ	高見沢一吉
7位	G 32	KRM ケーズフロンティア	飯田太陽
8位	G 7	Yunbo DIRECTION	林 久盛
9位	G 16	YOU DIRECTION	横幕ゆう
10位	G 31	コウセイカイ ディレクション	眞野壮一郎

F1 決勝日10万以上の観客で埋め尽くされたスタンドは小林可夢偉の表彰台を期待するファンで異常な雰囲気になっていた。そんな光景のなかでPCCJの決勝が始まった。いざグリッドにつくボルシェカレラカップの全ドライバーにも緊張感が漲り、F1開催の憧れの舞台に戸惑う。前日の9戦で勝利したチャンピオンクラスの平川亮もジェントルマンクラスの横幕ゆうも緊張のグリッドに並んだ。12時15分に全車がスタート。平川、山路共にクリーンなスタートを切ったが1周目にポイントリーダーの永井がスピン、2レース連続の後退で大きく順位を下げた。チャンピオンクラスは平川は特別の舞台という重圧を跳ねのけ独走体制で山路を振りきり7連勝で同時にタイトルも獲得した。一方、ジェントルマンクラスはトップを走る横幕がファイナルラップでスピン。F1舞台鈴鹿での連勝は消え、変わって飯田太陽がトップでチェッカーを受け初優勝。タイトル争いはツインリンクもてぎ決戦に持ち越された。

PIRELLI



飯田大暉が初優勝を飾る。

THE TEAM

CLOSE-UP

Team

Team OGT! Racing

